

平成25年度 第5回社会教育委員の会議

- 1 開催日時 平成26年2月4日（火） 14時00分～16時00分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 15名
廣瀬委員長，駒場副委員長，矢古宇委員，宇賀神委員，徳永委員，福田委員，櫛淵委員，坂本委員，荻野委員，清島委員，吉田委員，伊藤委員，小池委員，河田委員，菊地委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 平成25年度 宮っ子ステーション事業の実施状況について
 - ② 平成25年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について
 - ③ 平成25年度 家庭教育支援事業の実施状況について
 - ④ 宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について
 - ⑤ 人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について
 - ⑥ 平成26年成人式の実施状況について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成26年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について
 - ② 平成26年度 文化行政の基本方針と重点施策について
 - ③ 平成26年度 社会教育関係団体に対する補助について
 - (3) その他
 - ① 平成26年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日等について

7 発言の要旨

廣瀬委員長

皆さん、こんにちは。今年度最後の社会教育委員の会議になります。今日の議事は、報告事項が6件、協議事項が3件、その他が1件、計10件の案件がございますので、適宜進めていきたいと思っております。では最初に、報告事項から始めたいと思っております。報告事項①「平成25年度 宮っ子ステーション事業の実施状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

宮っ子ステーション事業について、委員の中で宮っ子ステーション事業に関わっている方がいらっしゃったら発言していただきたいのですが、よろしいですか。

伊藤委員

晃宝小学校で宮っ子ステーションのコーディネーターをさせていただいております。事業の内容については興味があったらご質問いただきたいのですが、放課後に子どもたちがカリキュラムを見つけて参加してくれている感じなのですが、とても和やかに順調に活動させていただいております。ただ、4年目、5年目になってきて、人材の確保という問題がありますし、5時、5時半という早い時間にお迎えに行けなければ参加できないというのが保護者の方にとってネックになっています。お迎えの時間には来られないけど子どもを参加させたいというお父さんお母さんがいて、このような家庭の子どもが活動に参加してもらえような方策について、考えていただけたらという思いがあります。宮っ子ステーションと放課後子ども教室をやらせていただいているのですが、留守家庭児童会の方にとりましても、やはり指導員の方々の負担が年々増えているような感じがします。指導員の方々の資格という点では、負担を軽減するという意味でも保育士や教員などの子どもの指導に長けた有資格者を置いていただけたらいいなというのが、私ども希望としてあります。

廣瀬委員長

晃宝小学校は事業開始当初の平成20年度から、長くやっておられますので、成果も出てきているのではないかと思います。ほかに宮っ子ステーション事業について、ご質問やご意見ございませんでしょうか。

菊地委員

一つ聞きたいのですが、利用率を見ると、10パーセント程度のところもあり、かなり差があると思います。このことについて何か理由があれば、お聞きしたいと思います。

事務局

ご質問をいただきました利用率の計算でございますが、こちらでは全児童数に対する登録児童数を表記しているところです。こちらの数字に関しましては、その下の欄でございます、週あたり実施回数で週1回行っている所や、週5回行っている所などがあり、参加できる児童数が異なっております。例えば、毎週何曜日は塾に行くとか、それぞれの習い事などの制約がある中で、週あたりの実施回数が多い学校というのは、登録児童数も増えるような傾向がございます。また、先程ご報告を申し上げました通り、課題でございますけれども、どれだけ魅力的なメニューを実施するかということにおきましても、そのパーセンテージに関わってくるのではないかとということで、課題認識を持っているところでございます。

廣瀬委員長	<p>もう一つ、地域の事情にもよるものだと思います。例えば住宅地が多い所と商業施設が多いところとでは状況が異なってくるのだらうと思います。その他に何か質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、宮っ子ステーション事業の報告事項について以上にしたいと思います。では次に、報告事項②「平成25年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
廣瀬委員長	<p>アンケートの結果は、しっかりやっていけば成果は上がってくるということだと思います。では、魅力ある学校づくり地域協議会に関わっている委員の方々もいらっしゃるかと思いますが、ご意見等ございますでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>私は、魅力ある学校づくり地域協議会のコーディネーターをさせていただいております。頑張って活動をしているつもりではいるのですが、3月、4月頃になり、校長先生や副校長先生が変わる時には、どんな先生がいらしても、きちんとした活動が学校、地域でしっかり行われていれば、大丈夫だと思うのですが、先生の考え方が変わってしまい、地域での活動が制限されてしまわないかと不安に思うことがあります。</p>
徳永委員	<p>本校の地域協議会の様子ということですが、私は昨年度から雀宮南小学校に勤務しているのですが、最初は、副校長が窓口となって地域協議会を進めていたところですが、今年度からはコーディネーターの方に協力いただきまして、コーディネーターの方を中心に話し合いを進めてまいりました。するとやはりコーディネーターは地域の方ですので、地域の人たちの意見を随分、取り入れやすくなりました。良い雰囲気の中で進めています。</p>
廣瀬委員長	<p>せっかくですから田原中学校の宇賀神委員からもお話いただきたいのですがいかがですか。田原中学校は、中学校区の地域協議会としては素晴らしい活動をしています。私どもの勉強会で、田原中学校から地域協議会の会長さんをお呼びして勉強会をしたことがあります。</p>
宇賀神委員	<p>それでは、田原中学校地域協議会の活動を紹介させていただきます。本地域協議会の活動が盛んなのは、会長さんが非常に意欲的な方で、様々な事業を立ち上げていただいています。また、協議会の委員の方々それぞれのお立場で入っていただいているので、事業を進める時にその専門の方がいらっしゃいます。そうした方々の尽力で活動が円滑に実施されています。先程の事務局の説明の中では、地域学校園における小中学校の連携が</p>

課題になっているとのことですが、田原地域学校園では、11月に「親子星空観察会」、12月に「三校地域協議会音楽祭」、1月に「地域学校園協議会講演会」をはじめとし、様々な事業を連携して行っています。地域協議会が3校ということと、地域協議会長さん同士の面識があるということで、連絡・調整が密に行われていることも要因の一つだと考えます。

清島委員

陽北中学校の地域協議会と豊郷南小学校の地域協議会に関わらせていただいております。小学校の時は支援という部分で結構やれることもあり、多くの保護者の方や地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に活動をさせていただいたと思っております。しかし中学校に入ってみると、陽北中学校区というのは3つの小学校の集まりで、地区も3地区が集まっています。従いまして、それぞれの地区の考え方をを持った長の方が3名いらっしゃるということで、関わる人数が多いと、少し変わった意見が出たりする場合もあって、なかなか皆さんで同じ方向を向いて一緒に活動するのが難しい部分もあるのかなと、特に中学校の方では感じたりしております。

廣瀬委員長

私も実は、陽東中学校区の地域協議会の会長をしています。ですから、田原中学校を目指してやっているのですが、陽東地区も3つの小学校からなりますが、やはり3つというのはそれぞれに活動しているものですから、そのへんも苦慮されている中学校も増えているようです。田原中学校の場合は、実働部隊として実際に中学校で支援活動を企画実施してくれる人たちが委員に入っているということで活動が活発になっているようですね。田原中学校の事例は、非常に参考になると思いますので、皆さんも学ぶ機会があれば良いなと思います。

事務局

事務局の方から補足がございます。小学校と中学校の取組の難しさという点につきましては、小学校の協議会も中学校の協議会も目的は同じで、地域の大人との斜めの関係の中で子どもたちを育てていきたいと思いますという取組です。ただ、それに向かっていくアプローチの仕方が小学校・中学校で若干違っているのではないかと感じています。小学校は先程ございました通り、地域の大人が学校教育支援活動、学校支援ボランティアとして学校の中に入っていただき、学校の中で子どもたちが地域の大人と触れ合う斜めの関係の中で、健全育成をしていくというような傾向があります。一方で中学校につきましては、そのような活動を行っている所も多くございますが、子どもの発達段階に応じて、中学生が将来、自分たちの地域で何を役割として果たしていくのか、担っていくべきなのかということと併せて考えてもらいたいという願いもございまして、同じ斜めの関係と言いましても、どちらかという中学生が地域の中にどんどん出ていって、地域の大人と一緒にボランティア活動などに取り組む。そして地域の大人と斜

めの関係の中で、また自分の地域の中での役割についても考えながら、健全育成が図られていく。そのための架け橋になっているのが、この協議会であって、小学校は大人が学校に入っていくための架け橋、中学校は子どもを地域に向かって出していくため架け橋を果たしていると考えております。

廣瀬委員長

それでは、これで報告事項②については以上にしたいと思います。続きまして、報告事項③「平成25年度 家庭教育支援事業の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

家庭教育，親学を中心にご報告いただきましたけれども，親学習プログラム指導者の小池委員，何かご意見ありますか。

小池委員

親学の方は，出前講座の実施状況にもありますように，アンケート結果を見ても，大変良かったという声が多いのですが，「知識とかノウハウを学んだ。」，「感動した。」でも実際的には思うようにいかない。という声の方が本当の所は多いのかなと思います。今後の取組の所にあるように，今後，どのように学んだ知識やノウハウを行動に移していったらいいのかということ親学の内容の中で取り組んでいけるよう期待していきたいと思っています。

「こどもるっくる」の編集に関わらせていただきました。編集委員を公募して作っていくのですが，その編集委員の中に，乳幼児の子育て中の方がいる時といない時では，出てくる課題等に，大きな差があります。やはり子育てが一段落している人と，まさに現在子育てをしている人では感じていること，見えていることが全く違うということを特に最近感じるので，公募の際にも子育て中の方を入れると，より充実したものになると感じています。

廣瀬委員長

親学出前講座は好評で，良く進めているという報告でした。他にこの件につきまして，ご意見やご感想がありましたらどうぞ。

吉田委員

今後の取組で，「地域社会を構成する関係団体との連携強化を図り」，とありますが，子どもを育てる過程でいろいろと困ったこと，そういうことに関して地域の団体，例えば，民生委員などの団体，あるいは福祉協力員など，そういう方たちの力を借りるということについては，何か進めている部分はあるのでしょうか。それと，特に男性なのですが，企業の協力というのは子どもを育てる過程で必要だと思います。行政側としては，企業に対してどのような働きかけしているのでしょうか。お教えいただければ

ありがたいと思います。

廣瀬委員長

質問が2件ありましたが、事務局よろしいですか。

事務局

まず、民生委員・児童委員や福祉協力員との連携につきましては、確かに、そういうところと連携できればと思っておりますが、民生委員・児童委員などは語弊があるかもしれませんが、問題が多いようなご家庭などに対応する場合がありますので、私どもの方では、青少年育成会や子ども会等をお願いをしながら、地域の中で親学出前講座をやらせてもらえるような、そんな取組をしたいと考えております。またご指摘のとおり、地域の各委員の方々もいろいろな知識を持っていらっしゃると思いますので、そういったネットワークを活用できるような形についても検討させていただきたいと思っております。

それと、企業へのアプローチということですが、確かにおっしゃる通りでございますが、やはり仕事を持っている方々が、なかなか親学に出ていただけないという実態がございます。また、企業研修の中で呼んでいただける機会についても極めて少ないという現状がございます。必要性は認識しているのですが、なかなかアプローチの仕方も難しいという部分がございますので、今後、生涯学習課の中で引き続き検討していきたいと思っております。

廣瀬委員長

その他に、家庭教育支援事業の実施状況について、何かご質問やご意見ございますか。それでは、報告事項③については以上にしたいと思います。報告事項④「宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

宇都宮市民大学の実施状況について、何かご質問やご意見ございますか。非常に良い講座プログラムが開設されていると思うのですが、7割以上から5割以上の修了率、平均して79.7パーセントの修了率というのは、プログラム自体がある程度評価されたと考えてもいいのではないのでしょうか。

何かご意見、ご質問はございますか。それでは、報告事項④についてはこれで終了いたします。続きまして、報告事項⑤「人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について」をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

人材かがやきセンター主催講座、受講者も定員を満たしております、

非常に良い事業をやっているのではないかと思います。

何かこのことについて、ご質問やご意見はございませんか。新聞でも取り上げられた「宮の朝活」も定員を上回っているようです。よろしいかと思えます。それでは、報告事項⑤についてはこれで終了したいと思います。報告事項⑥「平成26年成人式の実施状況について」、事務局から願います。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

成人式に出席された委員の方々、ご苦労様でした。何か、お気づきになった点や、感想など報告していただければと思うのですが、いかがでしょうか。榎渕委員、いかがですか。

榎渕委員

今年は驚きました。午前中、宮の原中学校区会場に参加しました。会場が明保野体育館でしたので、どのようになるのだろうと心配しておりましたが、すごく厳粛で、素晴らしい成人式でした。午後是一条中学校区会場の護国会館に行きましたが、多少騒がしい成人式でした。

男の子があまり和服を着ていないというのも、時代の流れかなということを感じたところです。

廣瀬委員長

その他に、出席された方で、何かご意見ございませんでしょうか。どうぞ。

駒場委員

意見というより確認させていただきたいと思うのですが、今回、先程、榎渕委員からあったように、宮の原と陽西中学校区については、当初予定していた会場が都合で使えなくなったということで、会場決定にはご苦労があったと思うのですが、そんな中で、会場が決まった段階で私の所に、やはりホテルと体育館だと会場に格差があるのではないかというご意見もいただきました。そんな部分で、来年はどのような会場設定を考えているのかお聞きしたいと思います。

廣瀬委員長

事務局、いかがですか。

事務局

はい。ご指摘ありがとうございます。今年度は予定していた会場の一つが閉鎖いたしましたので、明保野体育館、とちぎ健康の森で対応させていただきました。準備の段階で、保護者の方からも、不安を覚えるというようなご意見が出まして、事務局といたしましては、ホテルと遜色がないようにというのを目指しまして、丸テーブルにクロスをかけるとか、暖房器具もかなり強力なものを入れまして、対応したところです。先程、榎渕委員からお褒めの言葉をいただき、非常にありがたく思っております。成人

式後に、実施委員の皆様方からアンケートをとりまして、全ての集計が終わりつつあるところでございます。希望する会場を聞いておりますが、結婚式場、ホテルを使いたいという意見が8割を超えている状況でございます。

このような状況を踏まえ、来年度につきましては、全ての中学校区でホテル、結婚式場で成人式が開催できるように調整しているところでございます。決まり次第、ご報告させていただきます。

吉田委員

私は、鬼怒中学校区と横川中学校区の会場に出席しました。鬼怒の方は、プロジェクターの音が出ていなかった。故障ではなくて、不具合か、担当者の方が不慣れだったと思うのですが、市長のメッセージですから、新成人にとっても、楽しみにしていた部分もあったのではないかと思ったのですが、それがほとんど聞き取れなかったという状況がありました。横川では全くそういうことはありませんでしたので、機械操作などは事前にテストをするなど徹底した準備が必要ではないかと思いました。

廣瀬委員長

それでは、成人式の報告については、これで終了させていただきたいと思います。続いて協議事項に入りたいと思います。協議事項①「平成26年度社会教育行政の基本方針と重点施策について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

社会教育行政の基本方針と重点施策について説明がありましたが、何かご質問やご意見、お考えがありましたら、ご発言していただきたいと思います。いかがでしょうか。資料7の別紙で分かりやすく変更点が書かれているので、非常に理解しやすいと思います。

福田委員

魅力ある学校づくり地域協議会の所の変更点で表現が少し気になったのですが、「支援」と打ち切らずに、「支援の充実」と書いてありますが、どのようなことなのか。

事務局

事務局といたしましては、25年度までも様々な形での地域の皆様の自主的な取り組みを支援してまいりました。今年度3月に発行していく「魅力ある学校づくり地域協議会活性化プラン集」でございますが、様々な活性化の事例などを記載しておりまして、これを活用しながら、今まで既存で行っていた支援をより充実・拡充していくということで、「支援の充実」と記載させていただいているところでございます。

廣瀬委員長

その他、ご意見やご質問、感想でも結構です。どなたか意見はございま

せんでしょうか。よろしいですか。

では、平成26年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について、社会教育委員としては承認するという事によろしいですか。ありがとうございました。それでは続きまして、協議事項②「平成26年度 文化行政の基本方針と重点施策について」お願いいたします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ただ今、文化行政の基本方針と重点施策について説明をいたしました。このことについて何かご質問やご意見、ご感想などありましたら、発言していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

吉田委員

文化行政については多岐に渡っているのですが、これは均等にやるのでしょうか。何となく焦点がぼけてしまう部分があるのではないかと思います。これは、活動内容がどうこうということではありませんけれども、妖精関係について、私の周囲の方々の話しでは、「宇都宮市がどうして妖精と関係があるの。」と知らない方が多いわけですね。妖精のまちを推進する方々の身近な活動がこういうことに結びついているということなのかもしれませんが、単純に、例えば百人一首であれば、非常に昔からの長い歴史・伝統というものがあるわけですね。そういうものに対して、妖精そのものにも歴史ということもあるのですが、どうしても西欧諸国というイメージが強いんですね。そういうことから考えて、もう少し絞った活動ということにはならないのでしょうか。

廣瀬委員長

そもそも、文化活動というのはものすごく広いもので、その中でも3つに絞って説明していただいたのだと思うのですが、それでもまだ、もう少し焦点化できないかというご提案だったと思っております。事務局から何か説明はありますか。

事務局

重点的に行うものとして、計画の中でも掲げているのですが、これは横から串を刺すような形になりますが、最も重点を置かなければいけないと思うのは、全ての事業・取組において、次世代の育成が重要であると考えております。その部分については、強化をしてまいりたいと考えております。また一方で、文化というものの裾野を広げるという意味で、この宇都宮市独自の文化、特にジャズと妖精、百人一首、3つに絞っているわけなのですが、こういったものを市民の方々に広く知っていただくというような情報発信も強化していきたいと思っております。妖精については、今、ご指摘いただきましたけれども、まだ知られていない部分が多いかと思っておりますので、さらに取組の強化をしていきたいと思っております。百人一首につきましては、先程もご説明させていただきましたように、最もこれら

の中では今、力を入れておりまして、全国の公式戦を誘致して、これこそ宇都宮独自の文化であるということで、全国発信を図っていきたくて考えておりまして、強化を図ろうとしている部分でございます。

荻野委員

多岐に渡りすぎるのではないかとというご意見かと思うのですが、私は、3つの点で、例えば何か宇都宮に関連したことということで、取り上げていると思うのです。例えば、百人一首の宇都宮頼綱・藤原定家、それから、ジャズの街は、渡辺貞夫氏の世界的なご活躍、これは素晴らしいことだと思います。また姉妹都市であるオルレアン市がジャズの街として、アメリカにジャズを送り込んだとか逆輸入したとか言われているようなことで繋がりを持っているということも、素晴らしいことだと思います。もう一つ、妖精のまちについてですが、妖精のまちも妖精の研究家の井村先生がお持ちになっている資料を全部宇都宮市に提供しましょう。ということで、非常に貴重な資料が展示されているということがありまして、この完成されたものが宇都宮市に大きな文化的な力を施してくれているのではないかと思いますので、そのへんを含めて検討していくと良いのではないかと思います。文化のジャンルは本当に広いですから、絞って絞ってということになると、非常に狭い範囲になるかと思うのですが、埋蔵文化から、農民文化、それから、今若者が目覚めている、また新しい文化などもあるということで、進め方としては、非常に苦慮しなくてはならないこともあるのではないかとと思うのですが、文化を幅広いものと捉える意味においては、非常に多岐に渡った資料で、私は良いのではないかと思います。

吉田委員

今のご意見、非常に参考にさせていただきたいと思います。

先ほどとは若干違うのですが、市内の各地域に、埋蔵文化財等があつて、その文化財の継承、保存していくことに対して非常に地元が苦勞している部分があるのです。財政的な裏づけがなく、文化財を持っていても、それを資源としてきちんと継承できない現状があります。これは非常に大変なことです。市内の埋蔵文化財について全部出来るということは、無いと思いますが、宇都宮市としてのシステムということではなくても、もう少し下のレベルの地域として支援していただけるというような考え、施策があれば将来的に良いのではないかと思います。

事務局

委員がおっしゃるように、さまざまな文化財、それ以外にも貴重な文化がございます。指定文化財等につきましては、私どもの補助制度がありますけれども、これはやはり、上限があるので限られるところがあります。それ以外のものとしまして、例えば、火焰太鼓を復元しようということで、実行委員会を組織した活動があります。これにつきましては、かなりの経費が必要となるものであり、行政的な支援として地域活性化事業という国の補助メニューを導入しながら、今、修復しようとしております。このよ

うに、市では難しいことも、国等の補助を探し、私どもの方から国から予算をとりまして、文化財を保護しようという活動をされる方々に対応できる場合もあります。このような方法も活用しながら、今後も進めていきたいと考えております。

荻野委員

ただ今、有形な、民族的な、例えば、火焰太鼓とか、山車とか、そういったものの修復等を大切にしていってほしいということも含めてご意見がありました。私もそういう有形的なものは、修復とか、子孫に伝えてほしいと思うのです。

私は前にも述べたかと思うのですが、いわゆる時間的な芸術、例えば、田植唄とか、田楽舞とか、その他、まだまだ高齢の方がご存命なうちに、残しておかなければならない、いろいろな民族的な宝が、市内にあると思います。そういった、何もしなければ消え去ってしまうような、そういった芸術、文化について、何とかそれを伝えるべく、検討していただきたいと思います。今ならまだ間に合うと思うのです。文化の伝承については、特別な知識のある方々が研究するような過程も必要かと思いますが、そのようなプロジェクトチームをつくっても十分に価値があるものと思っております。

清島委員

実は何年か前に、自分が住んでいる豊郷地区の史跡を調べる機会がありました。皆さんご存知かもしれませんが、戊辰戦争の時のお墓があるということです。そして実は戊辰戦争の時に作られた戦士のためのお墓というのは、六道町にあるものだけではないということも分かりました。豊郷地区にも2か所ほどあるということで資料を見つけたため、ちょうど地区市民センターが近いので、その場所を尋ねてみましたところ、地名は分かるのですが、詳細な場所というのは、把握はしていないということでお返事をいただきました。それだけでも非常にありがたかったのですが、近い将来忘れられてしまいそうな史跡もあると思いますので、今後ともそういった史跡の紹介などについて、忘れずに取り組んでいただければと思います。

廣瀬委員長

その他に意見はございますか。よろしいですか。それでは、平成26年度文化行政の基本方針と重点施策について、了承したいと思います。続きまして、協議事項③「平成26年度 社会教育関係団体に対する補助について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

社会教育関係団体に対する補助について、皆さん何か、ご質問やご意見ございますか。この原案でよろしいですか。

それでは、社会教育委員の会議の意見としては、事務局原案通りとして

まとめたいと思います。

廣瀬委員長 それでは協議事項が終わりまして、その他の議題に移りたいと思います。
その他①「平成26年度 宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定
日等について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

廣瀬委員長 この件については、質疑応答はないかと思いますので、よろしくお願
いします。以上で、議事に関することは終了したいと思います。司会を事務
局に移したいと思います。

事務局 廣瀬委員長、大変ありがとうございました。それでは、その他というこ
とで、事務局より本日の配布物についてご連絡をさせていただきます。

事務局 【配布物について説明】

事務局 2月10日月曜日に、宇都宮市教育委員会宮っ子だより第14号が新聞
折り込みで配布される予定となっております。こちらにつきましては、教
育委員会の取り組みを市民の皆様により分かりやすく知っていただくた
めのものでございまして、現在最終校正が終わって、印刷をかけていると
ころでございます。主な内容としては、教育委員会の特徴的な取り組み、ま
た、活躍いただいている市民の皆様方のご紹介等をさせていただいて
いるところでございます。私どもの生涯学習課関係ではありますが、「宮の朝活」
の関係であるとか、家庭教育サポーターの方のご活躍されているような状
況も載せておりますので、ぜひ、2月10日の折り込みをご覧いただけれ
ばと思います。

事務局 地域教育メッセにつきまして、補足させていただきたいと存じます。2
月15日のメッセの際に、本日ご出席いただいております、河田委員に会
場内の紹介等をお願いしております。河田先生には大変お世話になります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局 引き続き、次回の会議の日程ということで、ご連絡申し上げます。今年
度は本日が最後の会議となっております、次回は、次年度になります。
前回の社会教育委員の会議の中で、「社会の要請」について話し合うとい
うことで、スケジュールをお示ししたかと思いますが、そちらに基づきま
して、次年度は例年より少し早く、5月の開催を考えております。また、時
期が近くなりまして、日にちが決まりましたらご連絡させていただきます。
よろしくお願いいたします。

事務局

それでは、長時間に渡り、ご審議いただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成25年度 第5回社会教育委員の会議を閉会いたします。ありがとうございました。